

2020(令和2)年度

2020. 12. 21.

俣野っ子だより

式典報告号

藤沢市立俣野小学校

校長 東 麻子

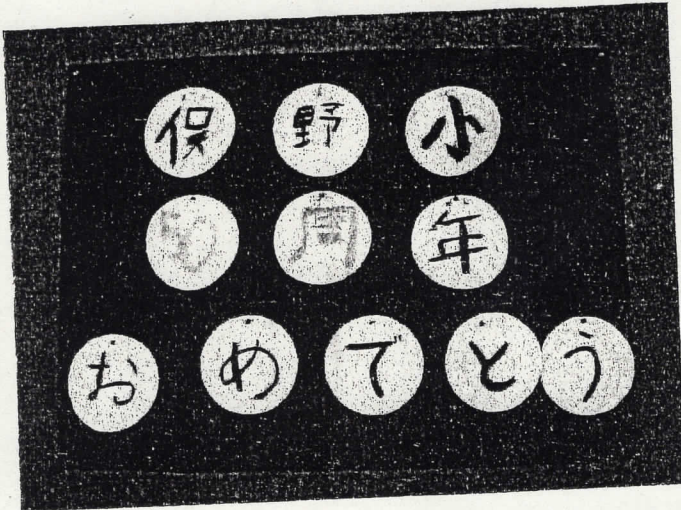
1
1
1

祝

創立50周年記念式典を終えて

12月4日(金)全校の子どもたちと節目となる記念の行事を行いました。

ゆかりの方々や保護者の方々をお招きすることができませんでしたので、概要をご報告します。



5・6年生の運営委員会の子どもたちが司会を務めながら式典は進めました。神崎 良50周年記念事業実行委員長と加藤博信 PTA 会長にお話をいただくとともに、学校評議員の方々に見守っていただきました。

実行委員長から、お祝いとともに、俣野小学校ができる前は、本町小学校まで片道50分くらいかかって毎日歩いて通っていたこと、昔から自然に恵まれたよい環境の中で子どもたちが成長していること、これからも子どもたちが元気に学校生活を楽しんでほしいことなどのお話を聞きました。(学校には、「藤沢小学校と電車で六会小学校に通う地区もあったこと、地域の方々が、子どもたちのために、たくさんの学校用の土地を用意し、歩道橋や信号などの設置を働きかけてくださって、昭和46年に俣野小学校が開校した」との記録があります。)

PTA 会長からは、一度しかない50周年の今日の式典を忘れないでほしい、というお話と一連の記念事業をご紹介いただきました。①記念植樹(夏みかん、甘夏、ブルーベリー)子どもたちみんなまで育てお世話もしてください。標柱を事務員工藤さんが作ってくれました。②航空写真を撮りました。ファイルをプレゼントします。③先生方で版面の後摺りをしました。④学校にPTAから50周年の記念として、演台脇の花代カバーを寄贈しました。式典の時に使ってください。⑤全校児童に記念品として、トートバックをPTAからプレゼントします。⑥地域学習の資料を教職員で作成しました。「またののさんぽ^{プラス}」を今後、主に中学年の授業で活用します。⑦50周年記念誌は、2月発行の予定です。50年のあゆみやいつもいろいろな場面で地域の方々にご支援ご協力いただいていることなどがまとめられています。手元に届いたら、読んでください。

その後、6年生の鼓笛の「宇宙戦艦ヤマト」「ドラマーチ」と「聖者の行進」の発表を聞きました。すばらしかったです。リコーダーとさまざまな楽器の音色がきれいに合わさった、迫力のある演奏にみんなで聞き入りました。6年生ありがとう。最後に、全員で校歌とビリーブを歌いました。40周年記念式典でもこの2曲を歌っています。

感謝 感謝 感謝 感謝 感謝 感謝

俣野っ子の作文より

<6年生 鼓笛への思い>

- ・鼓笛はみんなで作ればうまくなる。あと6年はさいごの鼓笛だから全力を出して、いい思い出にしよう
- ・私は1年生のころ鼓笛を初めて見て、「すごくはく力があつたし、かっこいいな」って思いました。でも最初は「リコーダーでいいかな」って正直少しかるい気持ちだったけど、5年生になって、たまたま6年生の練習をみて、みんなまじめにとりくんでいて、私のかるい気持ちは消えて、「トランペットやりたい」って思うようになって、テストにも合格してすごくうれしかったです。今はみんなで速さや息を合わせることを目標にがんばっています。それにみんなで合うとすごくうれしいし、「鼓笛って楽しいな!!」って、鼓笛の練習をするたびに思います。……
- ・ぼくにとって鼓笛はずーっとすきなリコーダーをいかせる場面だから小学校最後のリコーダーだと思って練習しています。最後の鼓笛をせおっているからくいのないようがんばっている。今まで(今も)、すきなリコーダーを「どうやったらうまくふけるかな?」「どうやったらみんなとあわせられるかな?」と意識しながらとりくんできました。それとおもだちとやっておたがいにわからないところをおしえあつてきた。(中略)鼓笛のみんなのかんぺきなじょうたいでできるだけ多くの人に見てもらって、「今年の6年はすごいな。」「がんばっているな。」って思える最後にしたい。
- ・私は、今年で鼓笛が最後だから、今までやってくれた方々のことを思いながら練習しています。今年は色々な事がありましたが、最後なので、全力をつくしてがんばりたいと思います!!
- ・みんなにもこてきをひきついでほしかったな。

<2年生 記念式典の感想>

- ・心にのこつたのは、6年生がやったこてきです。なぜかという、とてもはくりよくがあつて、いきがびったりあつてすごかつたからです。たくさんたくさんがんばってれんしゅうしたからとてもじょうずにできたんだと思います。/わたしも6年生をみならつていつもよりもいろいろがんばろうと思います。
- ・(前略)2番目に心にのこつたのは、ビリーブです。みんなのいきがあつていて、いい気持ちになりました。
- ・(前略)50しゅうねんだからトートバックやクリアファイルがもらえます。すごくうれしいです。ビリーブやこうかもみんなでがんばって歌いました。楽しかったです。

また、50周年をお祝いして、評議員の方々からは、写真とメッセージを、サツマイモでお世話になっている湯澤 幹治さんからは、葉ボタンの鉢をたくさんいただきました。またの学級もみんなまでメッセージ(上記)と大きなバースデーケーキを作り、飾りました。いろいろな形で、お祝いや温かな心配りをいただいて、ありがとうございました。

歴代の校長先生より

記念誌や式典の関係で、連絡を取らせていただいた校長先生方からお便りをいただきましたので、一部ご紹介します。

<甘粕 紀久子校長先生>

秋風にゆれる俣野の「五一山の花々」が目には浮かびます。みなさまますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。私の代で「40周年記念事業」を実施しましたので、とても感慨深く当時を思い出しております。“いつの時代もどのような環境時でも俣野小学校の明るさ、やさしさ、穏やかさは心の支えです”

50周年の年に更なる俣野小学校の発展を心よりお祈り申し上げます。

<吉田 浩校長先生>

「俣野小創立50周年」のお手紙を受け取りました。・・・2007年私は新任校長として、俣野小に着任しました。あの頃も学年2クラスで市内でも小規模校の部類でした。市内に4校ある「ことばの教室」が併設されており、職員も皆意欲的に仕事をしていました。・・・校庭の端にある「五一山」の花壇は、常に市内の花壇コンクールで金賞受賞の常連でした。・・・

コロナウイルスの影響で先生方も変則的な対応にご苦労されていることでしょう。子どもたちも運動会や修学旅行など楽しみにしていた行事が中止となったと聞き、かわいそうでなりません。今はただ感染しないように気をつけて行動し我慢の時ですね。お元気でお過ごしください。俣野小のますますの発展を祈ります。

<宇佐 とし子校長先生>

学校だよりをはじめとして要覧をなつかしく拝見しました。おたよりありがとうございました。・・・50周年の節目とのこと、早いものですね。私が俣野小でお世話になっていた頃は、30周年記念の節目でした。20年も前を思い出すと、心が若くなる感じです。50周年のお祝いを申し上げ、ますますの俣野っ子たちの健勝をお祈りします。

<永野 勝夫校長先生ご家族より>

創立50周年おめでとうございます。記念事業のご成功をお祈り申し上げます。

(初代校長先生は、平成15年ご逝去されておりました。)

ちょうど、6年生が書写の学習で「感謝」という文字を書いていました。しっかりとした字がたくさんあって、立派だなあと感心しました。(いくつかの作品を載せました。これらの字でみなさまへの感謝をお伝えできればうれしいです。)

式典においても、6年生が最高学年として、しっかりと下級生をリードしている姿がありました。1年生は初めての集會に、がんばって集中して参加しました。子どもたちの小学校6年間の成長ぶりは大きいです。

記念すべき50年という節目に、教育活動の歴史を知り、この間、多くの地域や保護者のみなさまにご支援・ご協力いただいたことに感謝するとともに、職員一同、本校の教育活動のさらなる充実に取り組むことを改めて心の中で思います。

2年間、50周年記念事業実行委員会で、神崎実行委員長と加藤PTA会長には、学校の取り組みにご助言やご支援をいただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

そして、50周年記念誌を担当していただいた柏木さん、木村さん、林さん、養和さんには、俣野小の50年の歴史を遡って調べたり、取材をしてまとめたりと、お忙しい中、大変ご尽力いただきました。ありがとうございました。完成が待ち遠しいです。

給食特別メニュー（給食通信より）

<50ねんだよ しょくのかみさまからのおくりものランチ>

給食委員会で考えたお祝いの献立

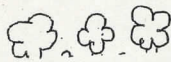
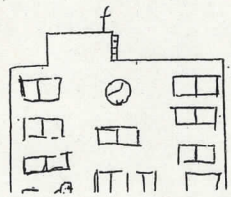
せきはん とりのからあげ

けんちんじる プリン

ぎゅうにゅう

おいしくいただきました。

ごちそうさまでした。



今日はまたの小学校50周年です

今日はまたの小学校50周年ランチです。みんな大好きからあげ、おいしいお肉のたけちゃんじる、おめでたい日のおせみ、あまごいし、デザートはプリン、いつものおいしいぎゅうにゅう。今日のメニューはものすごくおいしいです。毎朝毎日で歌ったビリーブは上手に歌えました。今日はまたの小学校50周年、みんなの力で50歳の誕生日を祝いましょう。

教職員の記念事業の取り組みについて

式典当日、2年間の報告会を行いました。各部会のまとめをご紹介します。

<式典部会 天野 t>

式典部では、50周年記念式典の内容や会場について5月から話し合いを進めてきました。様々な規制がある中での計画でしたが、無事に当日を迎えることができ、全校児童みんなで50周年をお祝いすることができました。今回、中心となった5・6年生運営委員と6年生実行委員の子どもたちがプログラム作成から当日の司会、言葉などを立派に務め上げました。短い時間ではありましたが、俣野小学校らしい温かみあふれる式典となりました。

<環境整備部会 監物 t>

西階段には、昭和55年度の卒業生（今、52才くらいでしょうか）が作成した大きな版画が版木と一緒に飾ってあります。40年経つうちに紙がボロボロと落ちてきていました。そこで、50周年のこの機会に摺り直してみようということになりました。40年前の6年生が彫った版画を40年後にきれいに摺れるのか心配でしたが、版木からはがして現れた版画はびっくりするほどきれいで、ちょっと感動してしまいました。木版画ってすごい！

<またののさんぽ部会 佐藤一樹 t>

「またののさんぽ」は創立10周年記念の1980（昭和55）年に作られた冊子です。その後、約30年間、改訂版を中学年の地域学習の資料などとして活用してきました。創立50周年を迎えた今年は、冊子の題名を「またののさんぽ^{プラス}」として、私たち教職員が俣野の地域を实际歩き、その場所で見たり聞いたりして学んだことを新たに資料としてまとめました。歴史と伝統のある俣野の地域に対して、子どもたちの興味・関心をさらに高められるように、来年度から授業の中で、活用していきたいと思えます。



式典で、英語のお祝いのことば、Many happy returns. を紹介しました。しあわせが何度も繰り返されますように。/たくさんのしあわせを祈っています。/しあわせが久しく続きますように。という意味です。（お誕生日などによく使います。）俣野小学校に、俣野っ子のみなさんに、地域や保護者のみなさんに、先生方、これまで関わってくださった方々に、このことばをお伝えしたいとお話ししました。

2020年最後の「学校だより」となります。

今年も日々、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。

寒さが増しています。みなさまにおかれましては、体調にくれぐれもお気をつけてお過ごしになり、よい新年をお迎えください。